



のです。道春さんの言葉は、お釈迦様の言葉です。ということはお釈迦様の教えを数えきれないほど大勢の人々が受け継いで、伝えてきたということです。私は、道春さんの後ろに、そういう人たちの存在をリアルなものとして実感することができたのです。

—それで、僧侶になろうと。

春龍 般若心経の終わりに「真実不虛（しんじつふこ）」という言葉があります。嘘ではない、という意味です。この言葉が決め手になりました。西明寺に通った2年間で、嘘だと思ったことや疑った

ことはつもありませんでした。師匠である道春さんが話してくれることは全て真実だったのだ、そう思った時に、私の世界が変わりました。禅の教えの真実を、私が救われたということ、他の人に伝えたいと思い、仏教の道に進もうと決めました。そして、2012年のはじめに、師匠に二つをお願いをしました。一つは得度もう一つはその前日に仏式で私の結婚式を挙げることです。得度では髪を落とすから、式はその前にしなくてはと思いました。髪があるうちに(笑)。

—新潟の方と結婚を？

春龍 妻は旧月潟村出身です。「英語の個人レッスンをお願いします」と手紙をもらったのですが、とても丁寧な文章だったので年配の女性だろうと思って引き受けたら、きれいな若い女の人が現れてびっくりしました。出会って1年ほどでプロポーズしました。

―その後、一旦、アメリカに戻り、レンセラー工科大学の博士課程に進まりました。

春龍 AIにはずっと興味があつたので、きちんと学ぼうと思ひました。AIの影響やリスクはどの

ようなものか、そして、そのリスクをどう回避して効果を生み出すか、そのふたつのアプローチで研究しました。

—僧侶と研究者の二刀流はうまくいきましたか。

春龍 最初は難しかったです。伝統のある仏教と、人間が作り出そうとしているA.I.は逆方向を向いているので、僧侶であることと研究をすることは別だと考えるようにしていました。研究がうまく進まなくて困っていたときに、指導してくれる先生が「A.I.と仏教を一緒に考えてみては」と

アドバイスしてくれました。ああ、そうかと。それから研究の悩みを『坐蒲の上で溶かす』ことが習慣になりました。

『坐蒲の上で溶かす』とは？

春龍 坐蒲とは坐禪の時に使うクッションのことで、坐蒲の上で坐禪をすることで悩みを解消するという意味です。広い視野で社会をとらえて、初めて、伝統と最先端技術のバランスをとることが大事なのだと気付きました。今はほとんど変わっていく社会だから、変わらずに人に寄り添う仏教の教えが必要なのではないかという



ことです。大事な
のは「バランス」な
のです。その後は、
スタンフォード大
学でのポストドク
ター課程を経て、
研究員としての籍

した。

—周りの反応はどうでしたか。

春龍 皆さん、はじめは少し心配
だったと思いますよ。でも、優し
く温かく迎えてくれました。思っ
ていた以上に、自然に受け入れて
もらえてありがたいです。以前、

くなくてね」といきなり深い話を始めたのです。私を外国人ではなく、僧侶として見てくれていたのだと分かって、うれしかった。今回の赴任も同じです。皆さんは坊さんとして付き合ってくれています。

—A—の研究も続けています。

春龍 そうですね。人を真ん中に置いて考え、研究を続けています。AIにコントロールされるのではなく、自分で「何のために技術を使うのか」を考え、AIと共存するための研究です。そのためにも、仏教が大切だと思います。

—これから？

春龍 日本の若者はあまりお寺に
来ませんよね。お葬式をする場
所とだけ考えています。そこを変
えたいと思っています。ここに来

れば悩みや不安が解消でき、元氣になれる。お寺をそういうふうにと考えた人々が集まる場にしたいと思っています。この慶覺寺では第2・第4土曜の夜の坐禅会を行っているんですが、他に、本堂に泊まって、坐禅・精進料理の夕食・朝のお務め・おかゆの朝食を体験し、疲れたいや体を癒やすリトリートのイベントも、最近行いました。妻がヨガインストラクターなので、これからは坐禅とヨガを組み合わせたイベントや、蓬平温泉と協力した癒やしイベントなどを実現したいと思っています。それが町おこしの一環になったら、とてもうれしいです。いろいろ考えて地域の人たちと一緒にチャレンジしていこうと思っています。

ありがたかったです。

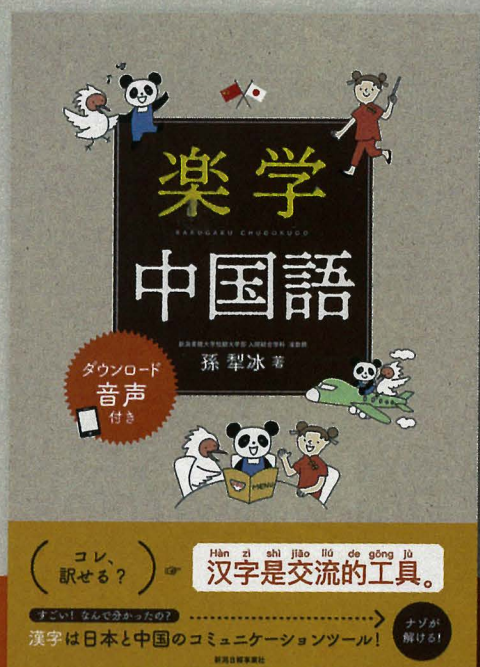
—ありがとうございました。


おうち時間に最適！

○
大きな文字で
学びやすい

樂學中國語

中国語教員歴27年の著者が、中国語を楽しく学び、楽に身につけるコツを伝授
最短1カ月で修了できるテキスト。



スラスラ読めて、

どんどんハマる！

そのまま使える日常会話・文章を収載
置き換え文で次から次へと応用できる

孫犁冰／著 定価:1,980円(税込)

●B5判／●148ページ／●ダウンロード音声付き

孫犁冰(ソンリビン)

新潟青陵大学短期大学部准教授。翻訳家。1971年中国ハルビンに生まれる。1992年9月ハルビン師範大学中国語文学部を中退し、来日。2006年新潟大学大学院現代社会研究科博士後期課程を修了。経済学博士。2011年4月より、現職。2016年9月より、新潟県労働金庫理事を兼任。

お求めは

県内書店、NIC新潟日報販売店で
Amazon・楽天ブックスなどでもお求めいただけます。

新瀉日報事業社

TEL.025-383-8020

新潟市中央区万代3-1-1メディアシップ14F



試し読みはこちら▶